○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
　和食文化ネットワーク＿北海道（2021 年 9 月 16 日号）
○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

9 月 16 日と検索してみると、「牛とろの日」というワードが出てきました。牛（９）とろ（16）の語呂合わせとのことですが、見た目に驚きました。
どんな味がするのでしょうか？とても気になります。
北海道大学の学食で「牛とろ丼」なるものが提供されているとのことなので、近くに寄る機会があったら一度食べてみようと思います。

まだまだ知らない「食」が沢山あるなと思いました。皆様の知る名物がございましたらぜひ教えてください。

さて、今回は「重陽の節供」の写真投稿キャンペーンを含む４項目をご紹介します。
ご興味のある項目がございましたら、ぜひご覧下さい。

【目次】
１．農林水産省　和食文化継承リーダー研修のご案内
２．文化庁　コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業
３．和食会議　９月９日　重陽の節供　我が家の和食　写真投稿キャンペーン
４．和食会議　シンポジウム「最新の食品成分表」と「健康」の関わり

――

１．農林水産省　和食文化継承リーダー研修のご案内

――

農林水産省では、子どもたちや子育て世代に対して和食文化を伝える人材を育成するため、栄養士等の方々を対象としたオンライン研修を実施しています。今年度は、29 県が対象となっておりますが、受講の空き状況によっては対象県外の方の受講も可能になる場合があります。研修は、基礎研修、実践研修、実地研修があり、基礎研修、実践研修はオンラインでの実施となります。
さらに、基礎研修は Zoom で行われ、各講座とも約 10 分間の動画の視聴となっており、隙間時間での受講が可能です。
手軽に和食文化を学ぶことができ、受講料も無料です。
ご興味のある方は、ぜひ！
　https://ouchidewashoku.maff.go.jp/seminar/

――

２．文化庁　コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業

――

【事業の概要】

・第２次募集期間　2021 年９月６日（月）～2021 年９月 17 日（金）
・支援対象：
（１）充実支援事業
公演・演奏会・コンサート・ライブ、展覧会等を開催し、積極的な取組
（２）キャンセル料支援事業
一定の条件を満たすキャンセル料支援事業対象地域で行う予定であった公演活動等（キャンセルになった場合の開催しなくても発生してしまった経費）及び動画作成
・補助金上限：600 万円～2,500 万円
・補助対象期間：緊急事態宣言の発令日（2021 年１月８日）まで遡り、
2021 年１月８日から 2021 年 12 月 31 日まで
【食文化の扱い】（想定される例）
〇　岡山後楽園で備前焼の陶芸家を招いて開催するレストランイベント
〇　料亭の大広間で日本料理のわざを披露するイベント（とそのオンライン配信）
〇　飲食の場を使って他の文化を披露するイベント（例えば京都の料亭で舞妓文化を学ぶ講座）
https://aff.bunka.go.jp/uploads/AFF_youkou.pdf?2108102

――

３．和食会議　９月９日　重陽の節供　我が家の和食　写真投稿キャンペーン

――

2021 年９月１日（水）～2021 年 10 月 15 日（金）の間、和食会議の「五節供に和食を」推進委員会は「９月９日重陽の節供　我が家の和食　写真投稿キャンペーン」を実施いたします。
詳しくは以下のキャンペーンサイト、プレスリリースをご覧ください。
キャンペーンサイト：https://washoku-campaign.com/
プレスリリース：
https://washokujapan.jp/2021/wp-content/uploads/2021/08/70afad359124e791d66c92c6c70c3312.pdf

――

４．和食会議　シンポジウム　「最新の食品成分表」と「健康」の関わり

――

1954 年に公表された「日本食品標準成分表」は、2020 年 12 月に「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）」として公表されました。
成分表は、日本人の食生活の現状（食文化も反映しています）を示す最新の食品成分データ集であり、健康によい「食」を考えるためにかかせない科学的根拠です。
シンポジウムでは、最新の成分表の特徴と和食との関わりについて、この成分表の策定委員会のお二人（主査、主査代理）にお話いただきます。
開催日時：2021 年 10 月 31 日（日）　13:30～（開場 13:15）

会場　　：オンライン（Zoom のウェビナー）
参加費　：無料（定員 500 名、先着順）
https://washokujapan.jp/symposium/

○●
北海道地域の和食文化ネットワークの事務局
○●

窓　　口：北海道農政事務所　生産経営産業部　事業支援課
住　　所：札幌市中央区南 22 条西 6 丁目 2-22　エムズ南 22 条第 2 ビル
電　　話：011-330-8810　FAX：011-520-3063

＜本省の Web サイト（和食文化ネットワーク）＞
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html

＜北海道農政事務所の Web サイト＞
https://www.maff.go.jp/hokkaido/

＜その他＞
北海道農政事務所や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。
配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

・北海道農政事務所メールマガジン
https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html

・本省メールマガジン
http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html